

寺報

龍正寺

日なた 173号

常に仏様は
私たちを
見守って
下さって

日延



<令和 4年 10月>

宝龍会
護持会

令和4年（2022年）秋季彼岸会開催しました。

令和4年9月23日（金：祝）

先祖供養を皆さん此処に思いを込めて供養されています。

いつか私たちも先祖と言われる側になります。

供養の大切さを知り、仏様たちに気持ちが届きますよう日々精進です。

私たちは、お彼岸やお盆、命日など、折々に必ず唯一の正法、南無妙法蓮華經による追善供養を心がけましょう



第七四一回

宗祖日蓮大聖人報恩御會式會

南無妙法蓮華經

宝雲山龍正寺

令和4年10月13日原祖日蓮大聖人第741回
御会式会です、当山は10月9日(第一日曜日)に
報恩御会式会の法要を檀信徒と共にい
たし、原祖日蓮大聖人と結縁報恩のお題
目を唱えて参りたいと思います。

寺報日名及を拝読下さいます皆様へ、お題
目を唱えられ、原祖日蓮大聖人と結縁に心
れられ安穏な日々をお過し下さい。

合掌

「父への想い」

私は父が嫌いでした...

私がまだ学生の頃、両親はよく喧嘩をいって、子供だった私には一方的に父が悪者に見える。長年と父と反りが合わずにいました。男同士ゆえに大喧嘩小喧嘩の家族問題も有るのだろうが、私には腹立たしい想いであり、父の固執の原因でした...

そんな父も18年前に59歳でこの世を去りました。

人は、生き別れでは憎しみが残るが、死に別れは美化が残ると言われるように、私も父と年齢が近づくと父の気持ちも、父が歩んで来、であろう人生の苦しみも少しずつ理解できるように成りました...

それ... 昨年の8月7日の夜... 私は友人と外食を帰宅しました。呑み足りないのがあつたので私は「父と酒を呑もう」と思い、2つのグラスにウイスキーを注ぎ、仏壇の前でロウソクを灯し呑みました...

私はいろんな事を語りました...

今までの事... 子供の頃の事... 父の固執の溝があった事...

父が私の住むアパートにわざわざ来てくれたのに大喧嘩に終わった夜のこと... 不思議と目の前に父が居るような気持ちになり、涙が溢れてきました

それからは仏壇の前で、頭を下げて今までの事を懺悔を伝えました...

「お父さん、今までごめんね... お父さんの気持ちを解ろうとせがみ、反発ばかりしていました... 今から生きていく限り供養は行きますので、どうか安心してください...」

そう言葉にして仏壇に何かを伝えると...

私の頭の脳の中に言葉が入ってきました...

「お前は どういう気持ちで言っているのか？」と問われ、私は吐きに「無の気持ちで言っています」と応えます。

それが正直な気持ちでした...

今のは何だったのだろうか？ 酒に酔った妄想なのか？

そんな不思議な感覚でした。

その夜が明け、8月8日の朝、お勤めのお経と唱題をする為、仏壇の前に座り、数珠を持ち、両手を合わせた時に

バウバウと数珠が切れる音を立て、畳に散らばりました...

未熟な私は縁起が悪いと思ひ込み、直ぐに佐口上人に電話で伝えました... 佐口上人は数珠を集めて持参して下さいと告げられて寺院に持参しました。

翌日に佐口上人から連絡があり、

「あなたの家系にある諸々の因縁が切れたのだよ」
そう教示して頂きました。

あつから1年が経ち、先日に寺院にて佐口上人に数珠が切れる前夜の事を初め話しをしてもらい... 佐口上人は黙って私の話しを聞いて下さり、「仏様が因縁が切れた事を数珠で示して下さいのだよ」と有り難い言葉を頂きました。

あの夜の不思議な言葉の感覚はお酒に酔った妄想でもなく、仏様から私に問うた言葉だと確信し、改めて信心を高める機を頂きました...

お父様は道は遠いですが... 仏から仏道を歩む精進にはおつ。

「お父さん、元気ですか？ いつかお逢える日まで...」

「秋の訪水」

この秋 紅葉の秘湯へどうぞ…

トロロな温泉街と…

と新聞の広告よりです

美しい紅葉の写真をじーと見ている

行ってみたいなあーと思う中で昔がよみ返る

同窓生の級友と家族とも…ご近所の方々と…

仲よしのお友達となんだか楽しみが急々と
あつたようでした

若さの中ですべてがよくて たのしめた様でした

いろいろ苦勞も心配もそれだけとあつただろう

に若さ故でそんなに深くも思わずにたのしみたか
つただけのように思っています。

今は年を重ねて足も衰く杖とついでには秘湯の

たのしみもうおれと仰ぐようです…

人生の節目の75才は高期高齢者となり

ますが 高齢者の高と幸に変わって 幸齢者

と致しましょう...

少しのことに意織をすこに心がけましょう...

とすよと... 幸齢者に幸せ積として笑顔かな
と新博よです 発想が面白く納得です

わたくしは年を重ねてこられたことはとても

有り難い思いでおります 老いたら老いた中で
秋の実りのように少しは心も円熟してきて

いるのではないかと思ってみますが 体の変化と

共に考え方の変化も大層ではないでしょうか...

年を重ねてやります中で 煩惱もうすれ 欲もこれと

やさしく 隠やかになっている 今がスキです

自分がスキとすることを楽しみながら 日常のくらし

のなんでもない 普通のことによるこびでございます

我が自分 自分が一番大層ではないでしょうか...

その自分の身体に エッセイ法話とか よろこびとか...

うれしみとか 良さ思いとか たのしみとか... 美しい

品々のご馳走をいただいたことの幸せの思いとか

家族の幸せの有りがたさの思いとかいろいろな
こと柄の心の思いを常によろこんでゆくこと
を身体はよく覚えていてくれるように思ってみます
そんなことのくり返しより心は豊かさを増し
てご自分のお顔の表情もやさしく穏やか
になつてゆけるのではないのでしょうか？

誰とも変えられない尊い自分です 自分を輝か
せてゆくことが一番大事であることも学びました

鏡に向かいそんな自分の反省も重ねて
ゆくことの大切さもお心さまより学びました
ゆたくしもし若い頃よりも年を重ねて参りました
た今の方が学びたいばかりです 何も知らず
の知識不足で妄言知らずがおぼろかしい
ばかりでゴザいます...

今日もティッシュ | 枝分の何らかの精進があれば
それでいいそれが大事であることも本で学びました
すまゆく秋のように今は年を重ねて参りましたが

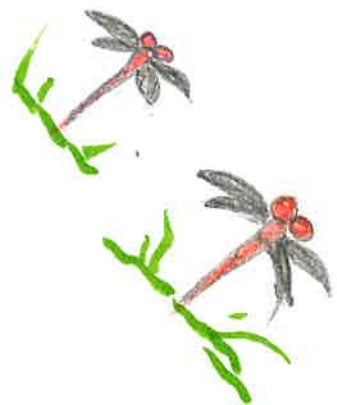
よろこびと感謝の思いが健康のもと
日常の1コマ1コマを大切に致してゆかむばと
言いかせませす 明るくたのしく大らかに笑
ませす 合掌は神仏さまと心の交流を致す
通路であることと学びました

大きな声でお題目を唱えまして今日1日の
御礼を申します。 ちり1つと神仏であるもの
ちり1つにも御礼を申すには大きな声でお経を
唱えることの大切さを若い頃に学びました!!

家庭内にお経が響き渡りゆくことが尊い
であることも教えられました

目には見えぬ不思議の中でのご守護を
いただきますことに心より有難くお題目
で御礼を申し上げます ありがとうございます

南無妙法蓮華経 合掌



— 前向きになれる言葉 —

朝晩涼しくなってきましたね。日陰では秋らしい風も感じ、季節の変化を感じています。

我が家には中学3年生の息子がいます。スポーツ少年団でサッカーに出会ってから、中学校ではクラブに所属させてもらい、楽しんでいきます。今月の土日は、中学生として最後の大きな大会をひかえチーム一丸となって頑張っています。

そんな1ヶ月前の練習中、チームメイトとぶつかり、手を付いた時、手首を骨折してしまいました。ギブス固定が、4~6週必要だと言われ、1ヶ月後の試合には間に合わない…と絶望しました。でも、足の骨折ではなかったこと、左手首の骨折だったこと、落ち着いて考えてみると、有り難い、と思えることが沢山ありました。かなり困難なことだとは思いましたが、出来る事はやってみようと言われ、友達からの紹介もあって骨がっくのが早まると言われている酸素カプセルに入ることになりました。また、この支払いも、岐阜市のバーコード決済の還元が使えることも分かり、いつもよりお得に入ることができています。

そして、チームのコーチは練習に参加できない息子に対し、

孤立することのないよう配慮して下さったり、チームの仲間も骨折前と変わらず接してくれています。お陰様で息子から後向きな言葉は一切聞くことなく、積極的に練習に参加しています。

「大難は小難、小難は無難」お上人様からよく聞く言葉です。今の私達にはぴったりの元気が出る言葉とよっています。法華経とのご縁がいたただけていたから、こんな状況になった時、どんな思いだったんだろうか...?と考えると...。骨折を他人のせいにしてしまっていたかもしれない、練習も参加することなく不平不満ばかり言っていたかもしれない、泣いてばかりいたかもしれない...。想像するのも嫌ですね(笑)

困難にぶつかった時は、その人が乗り越えられる、成長できるから与えられたと思うようになりました。これも龍正寺で学ばせていたことだと思います。自分の捉え方、考え方が次第で、人生変わると実感しています。また「まだ未熟な所は多々ありますが、皆さんと一緒に成長していけたらな...」と思っています。

南無妙法蓮華経

～ 結 縁 ～

朝・夜のお勤め時間が私の一番安らぎの時間です。
起きて寝るまでいつも時間に追われていますが、仏壇の前
で一日の始まりと終わりに、日蓮大聖人の身前で膝ま
すくと座っているこの場所は異空間と変わります。

時を忘れさせて頂ける。「焦らなくて良い、心に余裕を持って
一日を楽しめ。」と声をかけて頂いた様な気がします。

心に余裕がないと…。焦り失敗をします。焦る事でイ
立ちも起きてきます。すると、他人に対して攻撃的になります。
まずは落ち着いて考え行動する。焦ったところで何の良
結果もありません。冷静に状況を判断してこそ、時間を
有効に能率的に使い行動出来ると思います。

心が落ち着くと不思議な事に予定通りの行動が出来ています。
夜は疲れた身体で帰宅した時もまずは仏壇へ直行、「たいま
帰りました。」とあいさつします。身を整えてお経をあげます。

今日の出來事を振り返り、感謝・懺悔等 心と疲れた身体か
ゆっくり落ち着いてきます。そして「明日もよろしくお願ひ致します。」
と手をあわせています。

まるで頭を撫でてもらった子供の様に心が穏やかに
なり癒しを感じます。明日も頑張るぞ!! とパワーを
充電している気持ちです。

このような思いになれるまでには永い年月がかかり
ましたが、今の私には大切な時間だったと思います。
時間がかかった分、心は倅せに満ちあふれています。

日蓮大聖人様との結縁は永遠です。

この結縁を私だけではなく、子へ孫へと繋いでいく事が
家族の倅せになります。

10月13日は御会式会です。各寺院では

この10月に日蓮大聖人様との結縁報恩感謝の法要
が行われます。

世界中が乱れている中、どのような時でも、穏やかな心
を保つ事が出来る様に日蓮大聖人様と結縁を結びま
しょう。

南無妙法蓮華経

< 10月行事予定 >

10月9日(日) 12:30~

唱題行

13:40~

報恩御会式会

佐渡法難会

18日(火) 10:00~

鬼子母尊神
七面大明神) 祈禱会

< 10月住職の予定 >

寺院ニテ法務

施錠する時があります、参拝の前にお電話下さい。

< 10月の予定 >

10月2日(日) 13:00~ 御会式会 お花飾り

8日(土) 9:00~ 飾り付け

9日(日) 法要後 片付け、準備

11日(火) 各々の時間で 清掃、準備

17日(月)

